

報友会校

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7 0 2 0

毎年1回発行

誠實に謙虚に生きよ
 涙に人へ接し
 奉仕と感謝の心を
 常身を慎み反省を
 研鑽を怠るな

創立者 博士 高瀬順太郎先生提唱
 建学の精神
 中央学院大学
 校友会本部

理事長就任あいさつ



学校法人中央学院
理事長
進藤輝彦

校友会の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

理事長の吉野先生より平成二十八年十二月に定年により退職するので後を引き受けてほしいと言われて以来、再三お断り申し上げたのですが九月に入り更に理事長就任を要請され、十二月の理事会において理事長就任を正式に要請されました。学校法人の更なる発展の為に努力する所存です。学校法人中央学院の母体校の卒業生の皆様の校友のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い致します。就任後、学校法人の運営は非

常に厳しい経営環境にあることを強く感じました。当中央高校も同様であります。

昨年の十二月の就任以来、法人の役員、大学・高校の学長・校長教職員の方々から担当分野についていろいろお聞きし、現状をつぶさに見ながら役員をはじめ皆様のご意見を大切に考え現状認識を共有することが大事であると認識しております。中央商業高等学校のみの事だけでなく、今後は学校法人の三校が寄り添い全体の発展に向け努めていく所存です。

中央商業高等学校（現中央学院大学中央高等学校）は永代橋のふもとを離れ亀戸の地に狭いながらも五階建ての校舎を新築し、既存の小学校を改造した仮校舎の環境に比べ物にならないほど充

実した教育環境が整備され地元の皆さんとも非常に良い関係を築いて居ります。

中央学院大学はスポーツでも活躍し、駅伝で出雲・全日本大学・箱根駅伝とシード権に入り、ゴルフ女子部は関東女子大学春季Aブロック優勝など活躍し、我が亀戸の中央高校では恒例の中央祭が年々盛り上がりを見せ、レスリングを始め他のスポーツにも優秀な学生が育ちつつあり、我孫子にある中央学院高等学校では野球・剣道にと活躍をして居ります。

我が中央学院は一体となり活躍が広がっており、お互いに誇りを持って応援しましょう。

最後に交友の皆様の一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

中野
淳一

その頃の私は、勉強より部活動に明け暮れていたような気がします。

西伊豆のキャンプ場に行くことになりましたが、到着するとすでに数年前閉鎖されていてテントを張ることが出来ませんでした。困り果てて、民宿案内所で紹介されたバンガローに行くことになりました。しかし三日目には予約があると追い出され、また案内所の方に泣きつき、その方の家に一泊させてもらい、次の日に、四時間以上かけて海辺のキャンプ場に行きました、三日目には雨に降られ大騒ぎでした。

大冒険の一週間でしたが少し大人になって帰ってきた様な気がしました。

その後、中央学院大学に進学しました。そして、なんと7年前には娘が中央学院大学中央高等学校に入学しました、二年

私の時は九州一周だった修学旅行もハワイ旅行になり、うらやましく思いました。

これからは、学友会の理事として、親子でお世話になった学校に恩返しをしたいと思っています。



地元の PTA 会長時代

**定時評議員会
及び校友会 懇親会**

平成29年6月23日(金)、亀戸アン
フェリシオンにおいて、定時評議員会
(総会)及び懇親会が開催されました。

総会は、寺嶋議長の下で平成28年度の
会務報告、梅津会計理事による決算報告
及び中島監事代行による監査報告、そし
て谷本専務理事による平成29年度の事
業計画並びに梅津会計理事による予算
案が提案・審議されました。出席者から
の質疑応答を経て全会一致で原案が可
決されました。

その後、参列者はその場の会場で、懇

親会の席に移り、親しく意見交換をしました。



懇親会の席で会長の乾杯の音頭



進藤理事長の挨拶

定時評議員会において、平成29年度の事業計画・会務報告・決算・予算・監告並びに校友会役員等が決定されました。

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回制作を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院学友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活発化させる
- 七、ホームページの充実をはかる

校友会役員名簿

	〃	〃	〃	〃	相 談 役		監 事		〃	〃	〃	〃	〃	理 事		〃	〃	〃	〃	常 任 理 事	会 計 理 事	専 務 理 事		〃	〃	〃	〃	副 会 長	会 長	役 職
54	51	51	50	42	55	48	96	90	84	81	79	65	79	78	73	62	54	65	59	66	62	61	60	55	55					卒 期
進藤暉彦	佐藤義則	吉野賢治	山崎正明	村尾幸夫	三谷昌治	村松重徳	柳辰徳	設楽治樹	藤掛晃浩	上森健司	青木康則	金子由信	大橋治久	高島有美子	中野淳一	樋口やい子	秋山正夫	梅津修	谷本弘郎	中島伸一	平川憲一	石田高幸	白石勝弘	佐藤昌信	寺嶋昭雄	氏名				

平成29年 合同新春懇親会

平成29年1月27日（金）恒例の四者合同新春懇親会が、亀戸アンフェリシオンで開催されました。

谷本専務理事の司会で始まり、各四者の代表者の挨拶に引き続き、前学校法人吉野理事長の祝辞を頂きました。佐藤副会長による乾杯の音頭で盛大にスタートしました。



吉野相談役



永代会長



寺嶋校友会会長



PTA 会長



土田校長



景気づけにジャンケンによる景品争奪イベント



懇親は結構式場のイベント会場を使用しました

平成29年度

理事会（総会議案の審議）

29年度4月21日（金）、中央高校会議室で開催されました。定時評議員会及び懇親会開催に向けての審議・検討が行われました。付帯事項として、評議委員会

の役員出席が思わしくない現況であることから、会員の増強について各自意見をまとめる事となりました。

校友会理事会（親睦）

「両国界隈・歴史探訪」

7月2日、相撲の街、両国界隈を中心に「歴史探訪」をしながら、「ちゃんこ鍋」を囲んで理事会を開催しました。



勝海舟生誕の地にある公園で集合写真を撮りました



ちゃんこ夢中になりました

理事会は寺嶋会長の挨拶の後、土田校長から学校の近況についての報告があり、中央祭の取り組みについての参加要

請がありました。学校法人からは進藤理事長も参加するなど和やかにして、多少の緊張感の中で進められました。

校友会理事会

「年々締め付けの理事会」

12月14日、1年を振り返って締め括りの理事会が錦糸町のベッラベラで開催され、進藤理事長をはじめ16人の役員が出席しました。議題の中では、土田校長から四者合同新年会が明けて2月2日に開催予定の報告があり、続いて佐藤副会長から沢田相談役の退会要請、ホームページの運用に関して説明がありました。

他に、学院高校の春の甲子園出場を手中に収めた経緯や大学箱根駅伝の報告がありました。盛りだくさんの議題進行に活気ある話題となりました。



慌ただしく一年が過ぎました 来年もよろしく

会務報告

*平成28年

4月2日 学院大入学式
4月8日 中央学院高校入学式
4月11日 中央高校入学式
4月19日 連合協議会正副会長会議
4月28日 決算監査
4月28日 校友会理事会
5月29日 連合協議会総会・親睦会
5月30日 〃
6月24日 定時評議員会(総会)
7月3日 理事会(兼記念碑清掃)
10月2日 中央祭(文化祭)
10月28日 理事会
11月19日 大学創立50周年式典
12月18日 理事会(納会)

*平成29年

1月2日 箱根駅伝(往路)
1月3日 箱根駅伝(復路)
1月3日 駅伝慰労会
1月27日 四社合同新年会
3月4日 中央高校卒業式
3月4日 〃 謝恩会
3月11日 中央学院高卒業式
3月20日 学院大学位記授与式

平成28年度 収 支 決 算 書

自平成28年 4月 1日
至平成29年 3月31日

(単位: 円)

収入の部	決算	予算	差異	支出の部	決算	予算	差異
会 費 収 入	2,176,740	2,150,000	26,740	評 議 員 会 費	199,200	300,000	△100,800
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	会 報 等 印 刷 通 信 費	752,091	1,000,000	△247,909
雑 収 入	9,191	0	9,191	同 期 会 補 助	20,000	50,000	△30,000
				同 好 会 補 助	20,000	20,000	0
				慶 弔 費	88,600	50,000	38,600
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	80,000	50,000	30,000
				中央学院連合協議会々々費	100,000	100,000	0
				事 務 費	0	100,000	△100,000
				新 入 生 卒 業 生 記 念 品	386,208	500,000	△113,792
				雑 費	8,738	50,000	△41,262
				予 備 費	0	200,000	△200,000
経常収入計	2,195,931	2,160,000	35,931	経常支出計	1,654,837	2,420,000	△765,163
基 本 財 産 運 用 収 入	27,304	27,000	304	基 本 財 産 組 入 支 出	0	2,000,000	△2,000,000
前 年 度 繰 越 金	3,002,631	3,002,631	0	次 年 度 繰 越 金	3,571,029	769,631	2,801,398
計	5,225,866	5,189,631	36,235	計	5,225,866	5,189,631	36,235

※他に基本財産 10,320,000円 (5年千葉県債 932万円 (0.35%) 5年大阪府公募債 100万 (0.173%))

平成29年度 収 支 予 算 書

自平成29年 4月 1日
至平成30年 3月31日

(単位: 円)

収入の部	予算	前年度予算	差異	支出の部	予算	前年度予算	差異
前 年 度 繰 越 金	3,571,029	3,002,631	568,398	評 議 員 会 費	300,000	300,000	0
会 費 収 入	2,150,000	2,150,000	0	会 報 等 印 刷 通 信 費	1,000,000	1,000,000	0
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	同 期 会 補 助	100,000	50,000	50,000
雑 収 入	0	0	0	同 好 会 補 助	40,000	20,000	20,000
				事 務 費	100,000	100,000	0
				慶 弔 費	100,000	50,000	50,000
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	100,000	50,000	50,000
				中央学院連合協議会々々費	100,000	100,000	0
				委 員 会 活 動 費	100,000	0	100,000
				新 入 生 ・ 卒 業 生 記 念 品	500,000	500,000	0
				雑 費	50,000	50,000	0
				予 備 費	200,000	200,000	0
				基 本 財 産 組 入 支 出	2,000,000	2,000,000	0
				次 年 度 繰 越 金	1,068,029	769,631	298,398
計	5,758,029	5,189,631	568,398	計	5,758,029	5,189,631	568,398

※同好会補助——同好会(クラス会でないもの)の年間補助1回10,000円

※同好会補助——同好会(クラス会でないもの)の年間補助1回20,000円

※スポーツ奨励金——中央高校のスポーツ充実・発展を図る為生徒に対して奨励金を支給する。

中央祭

校友会の皆さま、こんにちは。

今年で二十四回目を迎えた中央祭は、十月八日の日曜日に行われました。今年の中央祭のスローガンは「笑顔満祭」です。このスローガンには、生徒全員が最後まで頑張ってきたことを、精一杯發揮し、お越し頂いた方々にお祭り気分を楽しんで、笑顔で帰っていただきたいという生徒の思いが込められています。

また、装飾に関しては「祭」をイメージして作りました。正門から玄関までは「中央祭」という大きな看板を設置し、配色もお祭りと笑顔をイメージして選びました。



正面玄関前には中央祭の大看板が備えられました

今年は受付を玄関外に置き、受付付近には各クラス・団体の催し物を紅白の飾り

紙を使って掲示し、校舎に入ってすぐの中央階段にはバルーンアーチ、ラウンジの吹き抜けには、スローガンと花火を描いた懸垂幕を飾り、色とりどりの提灯を飾り付けることによつてお祭り気分を高めました。そして、各クラスの出し物を表す垂れ幕を、各クラスの協力で作成してもらい、飾りました。これらの装飾を来場者の方々にご覧いただいて、とてもうれしく思います。

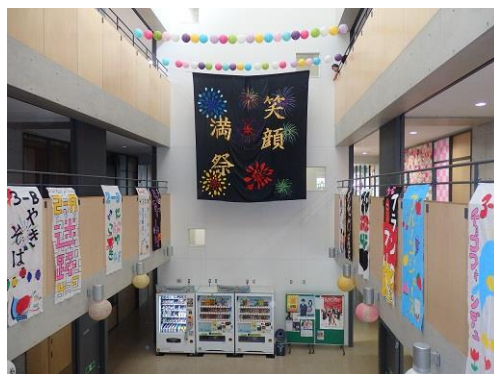


正面階段はお祭り気分を醸し出す飾りで一杯

また、校舎内や体育館において各クラスの模擬店、クラブの催し、有志グループによるダンスや音楽の発表などをおこないました。今年は体育館イベントの一つとしてラモス瑠偉氏による講演会もあり、開場から最後まで体育館も盛り上がりを見せました。そして、昨年からおこなった東北復興支援販売会は、今年はそれに熊本復興も加わり、PTA主催でおこない、多くの皆さまにご協力をいた

できました。

中央祭当日は、校友会の皆さまをはじめとして、たくさんの方々の保護者の方々、多くの一般の方々にご来場いただきました。本当にありがとうございます。中央祭の実施にあたり、ご協力いただいたすべての皆さまに感謝いたします。



とにかく元気で笑顔が素晴らしいお祭りでした

最後になりますが、無事に中央祭を成功させることができたことを本当にうれしく思っています。成功させることができたのも、中央祭実行委員会の仲間と協力し、助け合うことができたからだと思います。

中央祭実行委員会のみなさん、ありがとうございました。そして、陰ながら応援してくださった先生方、中央祭の開催にご協力いただきましたPTAの方々にも生徒代表として改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。



中央学院大学 中央高等学校

☆専任講師

中村 淳和

今年度から英語科の専任講師として勤務しており、2学年の学年付、部活動ではバスケットボール部を担当しております。

大学卒業後は、より様々な角度から英語について学ぶために大学院に進学しました。学生時代には、バレーボールとラクロスに打ち込み、協調性を学び、物事を最後までやり遂げる大切さや達成感を味わうことができました。

さらに、大学時の休暇中に行ったニュージーランドへの短期のホームステイが、英語に携わる職に就きたいと思えたきっかけです。つたない英語でホストファミリーや語学学校の友人と話す中で、自分の考えが英語で伝わる楽しさや、相手の話を理解できることに喜びを感じました。現在、国際化が進む社会の中で、どんな職でも英語に触れる機会はあると思います。

生徒の中には、「英語は英語を使う職業にならなければ使わない」という声を聞きます。その声を聞くたびに残念な気

持ちになります。これからの未来を切り拓いていく生徒には、英語を身近な存在にし、「**もつと英語を勉強しておけばよかった**」という思いをしないよう教科や受験科目のための英語だけではなく、コミュニケーションツールとして様々な角度から英語について興味を持ってもえればと願っています。

最後になりますが、まだまだ未熟者の私ですが今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

☆自己紹介

安達 柊

今年の春、大学を卒業し今年度より中央学院大学中央高等学校に専任講師として勤めることになりました。

私も、商業高校に入学し初めて簿記と出会い基礎を学び、大学では、より専門的な知識の学びと企業の経営分析などをしてきました。私が高校・大学時代に感じた商業科目の面白さや楽しさを中央高校の多くの生徒に知ってもらいたい、感じてもらいたい、今後生きていくうえで生かしていつてもらいたいという思いで商業科の教員を目指しました。面白さや楽しさを知ってもらうためには、生徒たちにとって魅力のある授業をしていかないとけないと日々痛感しています。魅力のある授業をするためには、まず自身が魅力のある大人でいなければなりません。そのために、中央高校の生徒とともに様々なことにチャレンジして、様々なことを吸収し、経験にしていきたいと思っています。

また、私は毎朝校門に立って朝のあいさつをしています。あいさつで生徒の様

子がわかることはもちろんですが、「**おはようございます**」の一言で一日が気持ちよくスタートでき、清々しい気持ちに変えることができます。これからも私の方から、明るく大きな声で声掛けをしていきたいと思っています。

☆一学年研修旅行

加藤 晴菜

4月17日(月)～19日(水) 2泊3日で山梨県富士河口湖町に研修旅行に行きました。私はこの研修旅行でさまざまなことを学ぶことができました。

1日目は、円滑に学校生活を送るための生活指導のお話や高校での勉強の仕方や試験についての教務のお話、「建学の精神」の意味を学び、また校歌の練習を行いました。特に「**建学の精神**」を覚えるのは大変でしたが、この言葉は、中央学院大学中央高等学校の生徒に対し、このように生きて欲しいという言葉で、私自身もこれからはこの言葉のように奉仕と感謝の心を持った人間になれるように努力していきたいです。

2日目は、あまり人付き合いが得意ではなくて、人と協力して何かを成し遂げることは苦手でした。しかし、このチームビルディングを通して、人との付き合い方や協力して何かを成し遂げることの大切さを学ぶことができました。この経験をこれからの年間に活かしていきたいと思いました。

高校生活では積極的に何でも挑戦し、研修旅行で学んだことを礎に頑張つて

いきたいと思っています。



本校創設者高楠先生の建学の精神を学びました。

☆ハワイ修学旅行

二年C組 田澤 彩紀

6月10日に、私は成田空港にいました。なぜなら、修学旅行先のハワイのホノルルへ行くためです。今回の修学旅行は私にとって初めてのことが沢山ありました。海外へ行ったことのなかった私は、初めてパスポートを作りました。パスポートを作るのは思っていたより時間と手間がかかり、海外へ行く大変さを身を持って感じました。飛行機は最初の離陸の時、すごく怖くて泣きそうになりました。しかし、着陸の時にはハワイの景色に魅了され、何も気にならなくなりました。

そして、ついにホノルルに着き美しい景色を沢山見ましたが、ホームステイのことで頭がいっぱいでした。しかし、ホストファミリーに会った瞬間、安心感に包まれました。なぜなら、私のステイ先

の家族は優しくそれでフレンドリーな方々ばかりだったからです。2日目には有名なワイキキビーチへ行ったり、買い物したりと、とても楽しい時間を過ごしました。そのため、3日目のホストファミリーとのお別れの日には寂しくて仕方なかったです。



ホストファミリー はフレンドリーな方々ばかり

4日目の判別自主研修はホノルル市内という知らない場所を自分達だけで回ったので、この道で合っているのか不安になることが数多くありました。しかし、自分達だけで目的地に辿り着いたときの達成感には日本の国内では、味わえないものでした。

そして、5日目、ついに帰る日です。最初はあんなにも緊張していたのに帰りたいと思いませんでした。そして、楽しい思い出だらけのハワイから日本へ帰ってきました。

帰国後は海外から旅行に来ている人

に話しかけられても動じなくなりまし
た。今後、海外に行くときは、さらに多
くの人の会話を楽しみたいと思いま
す。

☆体育祭

体育祭実行委員長 西丸 裕太郎

9月20日、心配されていた天候も
何とか持ちこたえ、無事に体育祭を終え
ることができました。



選手宣誓を受ける土田校長 競技開始です

今回は予定していた会場から急遽変更
となり、会場の使用方法の制限もあつて、
一から競技種目を考え直さなければなら
ないなどかなりやりがいがありました。
また、体育祭を何とか実施するため
に会場を探してくださったお蔭で実施
できた体育祭だったので自分自身も気
合十分で臨みました。

3年間体育祭実行委員を務めて様々
なことを学び、たくさん成長できました。
やはり初めは右も左もわからない状態
で、緊張とプレッシャーに押し潰されそ

うになりました。それでも周りの先輩方
先生方の支えの中で必死に頑張ること
ができました。慣れてくると後輩に気を
配れるくらい余裕ができ、そして3年目
で「何を残していけるか」を考えるよう



長距離に挑む選手の頑張りのもありました

になりました。生徒主体で作り上げる体
育祭は本当に生徒を強く成長させてく
れることを実感しました。

最後に、さまざまなものを残してくだ
さった先輩方、こんな私についてきてく
れた後輩達、そして何より3年間本当に
お世話になった先生方にこの場をお借
りして感謝の意を示したいと思います。

☆球技大会

委員長 高峰 徹也

今年の球技大会は毎年行ってきた中
央区総合スポーツセンターが借りるこ
とができず、葛飾区総合スポーツセンタ
ーで行いました。初めて使用する会場で
したので戸惑いもありましたが、教職員

の方々と実行員の生徒達が協力してい
ただき無事、楽しく素晴らしい球技大会
を行うことができました。



バドミントンでは音楽など流す試みをしました



タイムテーブルなど苦労もしました

今年の競技種目は、男女バレーボール、
バドミントン・男子卓球の3種目の競技
を行いました。バレーボールは例年通り
白熱した試合が多く非常に盛り上がり

ました。しかし、試合時間がなかなか読
みづらく、タイムテーブルなど苦労もし
ましたが、実行委員の生徒が苦労しなが
ら頑張ってくれて問題なくできました。
試合の方も男女共に僅差の試合が多く
白熱した試合が多かったと思います。



卓球は勝負にこだわり真剣に楽しく行った

バドミントンでは音楽など流す試み
をし、生徒達には好評でした。また、下
級生のチームが奮闘し、優勝チームは一
年生でした。団体戦ということもあり応
援にも熱が入っており活気に満ち溢れ
ていました。

卓球はメイン会場の三分の一を仕切
り行いました。卓球台の配置など工夫し
効率よく進めることができ、スムーズに
進行できました。試合の方は各チームも
勝負にこだわり真剣に楽しく行ってい
ました。

来年度は、会場の関係もあると思いま
すが是非、バスケットボールを大会種目
に復活させたいと思います。

☆部活の紹介

吹奏楽部

1年D組 横井裕希

「はねかめまつり」

私たち吹奏楽部は、現役メンバー、OGそして先生とともに7月に地域のお祭り「はねかめまつり」に出させていただきました。私たちは、お祭りを盛り上げ、みんなに楽しんでもらうことを目標に、各人が練習し、本番を迎えました。



地元地域の（はねかめまつり）に出演した吹奏楽部の皆さん

訪れる観客を想像し、お祭りの趣旨を考えて披露する曲を選びました。限られた時間の中で練習し、お互いにアドバイスを言い協力し合いました。合奏してみると自分のことに集中してしまい、周りの音を聞いていなかったり、細かい部

分まで完成していませんでした。本番が近づくにつれ、それまでできなかったところが徐々にできるようになり、前よりも周りの音をよく聞いて演奏できるようになりました。本番では、多少緊張してしまい、練習の時より音がやや小さくなっていました。おおむね目標にしていたことを披露することができ、小さい子から年配の方々までお楽しみいただけたと思います。これらの経験は、これからの部活動や社会生活にも役立つと思います。来年は、これまで以上にいい演奏ができるよう頑張りたいと思います。

レスリング部

2年D組 熊田 太陽

私は8月16日〜19日まで、大阪府堺市の金岡公園体育館で行われた「第32回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会」に出場しました。

この大会は、各都道府県から各階級2名の選手が出場することができます。5月に行われた東京都予選では、新人戦のチャンピオンに勝利し、出場権を得ることができました。

6月に行われた関東大会は、直前に怪我をして出場することができなかったのですが、その気持ちをこの大会にぶつけるつもりで練習に取り組んできました。

大会前には東京都の合同合宿にも参加し、ナショナルチームのコーチに指導して頂き、体力・技術の向上に努めました。私が出場する階級は84kg級でしたが今回は3キロの減量があり、大阪に入っ

てからも体重調整をしながら無事に量をパスすることができました。



堺市で行われてたグレコローマンスタイルレスリング

1回戦は福岡県代表の選手と対戦しました。先制点を取り、フォールの体勢まで行きましたが、逃げられてしまい、逆転フォール負けをしてしまいました。この敗因は練習量と経験値の差だと思います。

今年は2年生で出場することができたので、この経験を活かし、来年の大会では一つでも多く勝てるようにさらに練習に励みたいと思います。

軟式野球部

東京都大会出場

主将 久保川 拓実

私たち軟式野球部は現在、二年生1人、一年生8人の選手9名、マネージャー2名の計11名で活動しています。私たちが日々大事にしていることは、「全員野球」

の精神で、選手とベンチが一つになって一戦一戦に臨んでいます。

また、一年生が入部するまでは、単独で試合に出場することができず、東京都立江東商業高校と今年度の春季大会まで連合チームを組んでいました。その後、夏季大会（選手権大会東京都予選）では、1回戦の国士舘高校に勝利するものの、2回戦の日本大学第三高校に敗戦を喫し、三年生3人の引退を迎えました。



全員野球で挑んだ軟式野球部

秋季大会では16のブロックに分かれ、そのブロック優勝を果たした学校が都大会出場を果たすことになります。本校はブロック準決勝で東海大学菅生高校と対戦し、3対1で接戦を制し、ブロック決勝で早稲田実業学校と対戦することとなりました。早稲田実業との試合では点を取っては取り返されるという一進一退の試合となり、辛くも5対4で勝利することができました。まさに私たちが目指した「全員野球」を実現できた試合となったと思います。

その後、東京都大会では昨年度全国大会で準優勝を果たした早稲田大学高等学院と対戦し、力及ばず0対10という残念な結果で敗戦しましたが、次の春季大会に向けての課題を知ることができました。春季大会では今回の東京都ベスト16の成績を越えられるように頑張っていきたいと思っています。

「江戸川区近隣高校バレーボール会」

女子バレーボール部

キャプテン 菊間 裕璃奈

9月9日・10日に江戸川区近隣高校大会に参加しました。9日に各学校に分かれリーグ戦を行い順位決定をしました。私たち中央バレー部はこのリーグを二位で終え、10日に各リーグの二位が集まるⅡ部大会に進みました。10日の試合は9日と違い、トーナメント戦のため負ければ終わりというとても緊張感のある試合でした。私たちはシード校だったため、第一試合の勝者と戦うことになりました。この試合に勝てばコート決勝に進めるということもあり、チーム全員がいつも以上に気合を入れて試合に臨みました。序盤から自分たちのサーブで流れを作ることができ、中央らしい攻めと守りのバレーでストレートで勝つことができました。コート決勝の相手は、城東高校。私たちよりもはるかに身長が高く、パワーも技術も上のチームです。その相手を前に私たちは不安よりも楽しみな気持ちの方が大きく、今の自分たちがどこまで通用するのか挑戦した試合でした。結果としては、セットカウント0対2で敗れⅡ部大会を準優勝で終えました。

この二日間を通して、過去2年間の大

会で残すことのできなかった準優勝という結果を、賞状とトロフィーと共に学校に持ち帰ることができて嬉しかったです。また、中央バレー部としても自信に繋がる結果になりましたが課題を見つめ直す良い機会にもなりました。これからさらに高いレベルを目指し日々精進していきます。



チャンピオンシップに出場した女子バレーボール部

硬式テニス部

3年D組 山仲瞬吏

私は8月8日〜20日まで、駒沢オリンピック公園で行われた「第34回東京ジュニアチームテニスチャンピオンシップ」に出場しました。

この大会は、東京都テニス協会加盟団体所属、または、東京都中体連・高体連加盟学校所属の一員であることが出場条件です。

私は、3回目の出場で、コンソレーションで優勝しました。コンソレーション

とは、1回戦負け同士の戦い、3回勝ち進めると優勝になります。今回、私たち硬式テニス部は、ダブルス2つ、シングルス3つで出場しました。1回戦目は、都立西高校と戦いました。1勝4敗で負け、コンソレーションになりました。コンソレーション1回戦は、都立雪谷高校との対戦でした。3勝で2回戦に進みました。2回戦は、青山学院高校で3勝2敗という接戦の末、勝ちました。そして3回戦目に、これで勝てば優勝というプレッシャーの中、実践女子学園高校と戦い、3勝1敗で勝ち、優勝しました。私は、このチームのキャプテンとして、責任を感じながら、ここまでやってこられたのは、チームメイトのおかげであり、仲間たちを誇りに感じました。試合が全て終わり、賞状をもらった時、改めて勝利を実感しました。自分は1年生とダブルスを組み、全ての試合に勝てたことも喜びの一つです。なぜなら、最初は2学年も離れた部員と組んで私がリードできるかどうか不安でした。試合を重ねていくにつれ、段々とチームワークができ、思っていた以上に動けるようになりました。私がミスした時は、声をかけてもらったり、自分がチームメイトを励まし、試合を盛り上げていきました。



私は、引退しましたが、これからの硬式テニス部に期待しつつ、後輩のために協力していきたいと思っています。

中央学院高校

「中央学院高校の近況」

教頭 横田 一弘

平成29年度は新入生328名を迎え、総数1,021名でスタートしました。教職員は生徒と共に本校の特色を最大限に活かす学校作りに日々努力を重ねています。

平成28年度の進路状況は、10年連続の国公立大学複数合格（釧路公立大学・高崎経済大学）、中央学院大学への進学者数は53名（合格実数64）、その他大学への進学者数は258名、短期大学への進学者数は16名となり大学短大への進学率は75.1%を達成しました。生徒達は明確な目的意識をより確かなものにしていくために学習や部活動に真剣に取り組んでいます。また、本校で取り組んでいる検定資格取得は、引き続き10種11検定を実施しています。平成28年度は総受検者数944名、2級以上の合格者は58名という結果でした。

2学期に入り、学院祭（来場者数2,000名以上）や体育祭、校技大会（剣道・弓道）など学校行事を通して生徒一人ひとりがお互いに相手を認め合い、尊重し合い、微笑ましい雰囲気校内に満ちています。本校は創立50年に向かっていきます。この50周年はゴールではなく遠くを見据え、確実に歩みを進めていく未来へとつながっていると実感しています。

最後に平成29年度的主要な部活動の結果を報告します。

・野球部…秋季千葉県高等学校野球大会
準優勝、第70回秋季関東地区高校野球大会
出場（神奈川県）優勝

第48回明治神宮野球大会出場（東京都）
・書道部…第10回全国高等学校書道ハフ
オーマンス選手権大会出場（愛媛県伊予
三島運動公園体育館）

第66回千葉県小中高校席書大会、千葉県
美術会長賞受賞 関本媛心（2年）

第66回大正大学全国書道展、文部科学省
受賞 山中友香（2年）、玉川堂賞受賞
関本媛心（2年）

・サッカー部…第96回全国高校サッカー
選手権大会、千葉県大会決勝トーナメン
ト（11月1日現在でベスト8）



野球部は秋季千葉県高等学校野球大会準優勝しました

中央学院大学

☆ゴルフ部女子

関東女子大学春季Aブロック対抗戦

優勝・全国女子大学ゴルフ準優勝

5月10日（水）11日（木）に開催さ
れた「関東女子大学春季Aブロック対抗
戦」にて、ゴルフ部女子が昨年準優勝か
ら躍進し優勝を果たしました。さらに同
大会において、商学部3年永田 萌夏さ
んがMVPを受賞しました。



ゴルフ女子部は全国女子大学ゴルフ対抗戦で優勝

その後、6月15日（木）16日（金）北
海道苫小牧にて開催された「第40回全国
女子大学ゴルフ対抗戦」にて見事、準優
勝を果たしました。また、さらに同大会
において、商学部4年 丹野寧々さんが
二日目に大活躍をみせ、同大会二度目の
最優秀選手賞に輝きました。

☆サッカー部 岡田卓也さん

デフリンピック（聴覚障害者のための
総合スポーツ大会）出場

サッカー部の岡田 卓也さん（法学部
3年）が7月18日〜30日トルコ共和国
のサムスンで開催された「第23回夏季デ

フリンピック競技大会サムスン 2017」に日
本代表として出場し活躍しました。



アナリスト柳川さん
にオリンピック強化
スタッフ委任状



サッカー部の岡田さん
日本代表で活躍

☆バレーボール部男子アナリスト、

オリンピック強化スタッフに

8月9日（水）〜17日（木）に開催され
た第19回アジア女子選手権大会へ出場
した全日本女子バレーボールチームに
柳川 辰真さん（商学部3年）が技術ス
タッフ（アナリスト）として帯同、チー
ムの10年ぶりの優勝に貢献しました。さ
らに、日本オリンピック委員会より「平
成29年度強化スタッフ」として委嘱され
ました。東京オリンピックに向け活躍し
てくれることを期待しています。

☆我孫子市長、我孫子市副市長が現代 教養学部の授業に登壇

今年度より設置の現代教養学部 佐
藤 寛先生の「現代教養入門Ⅰ」（前期）
の授業に、ゲストスピーカーとして4月
13日（木）星野 順一郎我孫子市長の講

義が行われました。我孫子市についての
概要とその歴史、手賀沼浄化や東日本大
震災時の我孫子市の対応など話は多岐
に渡り、市民のために働く意義を学生た
ちも感じる事ができました。

星野市長による
特別講義



青木副市長の
講義



さらに、10月5日（木）「現代教養入
門Ⅱ」（後期）の授業に青木 章我孫子市
副市長が講義を行いました。若き日の
思い出から、我孫子市の抱える問題や、
インターシッピングの受け入れにも言及
した非常に内容の濃い講義でした。

☆国際交流について

6月3日（土）北アリゾナ大学研修
団が来校、学生交流会を開催し、北アリ
ゾナ大学、中央学院大学、川村学園女子
大学から21名の学生・教職員が参加しま
した。研修団は広島、京都、奈良などを
旅行したのち、我孫子市内でホームステ
イ体験をしました。

☆国際交流について

6月30日（金）には本学提携校である
台湾逢甲（ホウコウ）大学から研修団27
名が来校しました。例年は学部生や修士
課程の大学院生がメンバーですが、今回

は初めて博士課程の大学院生も参加しました。本学大学院生の熊 嘉軼さんと楊 洪娟さんが「日本の消費税税率・近年の変動について」を発表し、意見交換会を行いました。



台湾逢甲（ホウコウ）大学から研修団 27 名が来校



北アリゾナ大学研修団が来校し、 学生交流会を開催

箱根駅伝の取り組み 今後の予定

駅伝コーチ 尾上 岳史

「校友会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から私ども駅伝部にご支援、ご声援をいただき、厚く御礼申し上げます。

11 月に入り我孫子も日に日に寒さが増し、年間の最大目標である『箱根駅伝』が近づいてきたことを感じる季節となりました。本学も気がつけば 16 年連続 19 回目の箱根駅伝となり、ここ 5 年間で 4 度のシード権獲得と、箱根駅伝の常連校の 1 つに上げられるチームとなりました。また、今年のチームは、前回の箱根駅伝で総合 6 位となったメンバーが 8 名残っており、それにプラス α して新戦力が続々と出てきており、選手層の厚みが大幅に増し、前回大会以上の成績を狙える戦力が整ってきました。

まず、10 月 10 日に行われた『出雲駅伝』では、最終結果は 8 位となりましたが、1 区を走ったエースの大森（4 年生）が区間 3 位と好走し、また、今年大きく力を付けてきた廣（3 年生）が 4 区で区間 3 位の走りを見せるなど、5 区終了時点では過去最高順位タイとなる 4 位に付ける走り、上位争いに加わる駅伝をすることが出来ました。

次に、11 月 5 日に行われた『全日本大学駅伝』では、故障で主力の一人である

横川（2 年生）を欠くこととなりチームとしては厳しい状況ではありましたが、初の大学駅伝となる市山（3 年生）と有馬（2 年生）を含め、出走した全員が大きなミスなく堅実に櫂をつなぎ、総合 6 位の結果で 2 年連続してシード権を獲得することが出来ました。



昨年大手町をスタートした選手団今年に期待します

この 2 大会を終えて、いよいよ残す大会は箱根駅伝のみとなりました。この 1 年で、主力選手は走力と安定感が増し、新戦力となる選手も戦えるレベルまで力を付け、上位争いが出来る戦力が整ってきました。まずは、12 月 10 日（日）の箱根駅伝チームエントリー（16 名）で、ベストメンバー揃えられるようにしたいと思います。そして、新春の『箱根駅伝』では、神奈川大、東海大、青山学院大、東洋大、駒澤大の 5 強と呼ばれる大学による上位争いに食い込み、フラッシュユイエロー旋風を巻き起こせるように

したいと思います。

末筆にはなりませんが、校友会の皆様方の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。お正月の『箱根駅伝』では、部員一丸となつて挑みますので、ご声援の程、宜しくお願い申し上げます。

平成 29 年 校友会のつぎ

バスケットボール OB 会

81 期卒業生 上森 健司
正式に OB 会として発足したのは、平成 3 年頃になります。

当時 2 学年下の後輩が中央商業高等学校（現 中央学院大学中央高等学校）の非常勤講師として就任しており、その年からが始まりです。

発足当時は 5、6 名程度の OB しか集まらず、冬の時代もありました。

その当時の顧問、土田先生（現 校長）と懇親会を行い、現役生徒の近況報告や昔話に花を咲かせ OB 会のあり方などを話した記憶があります。土田先生の『継続することの意味がある、このまま毎年一回続ける事で土台がでかい誰れもが『来たい』と思う会になる』この言葉を信じ、毎年 8 月末の土曜日に OB 会を行っています。

現在では、少数で細々とやっていた時代とは見違えるように変わり、親子ほど年の離れた OB・OG がバスケットで汗を流し、子供を連れて参加する者など、大所帯になり、交流を深めております。このような活動が出来るのも、現顧問の内

堀先生のご尽力とご協力のおかげです。
感謝申し上げます。

今年も8月26日(土)にOB会を開催し多くのOB・OGの方々に出席頂きました(写真参照)

継続するには、若い力が欠かせません。是非、来年も卒業生の皆様の参加をお待ちしております。



バスケットボールOB・OG会の皆さん 中には二世の方の姿も

51期会

今年の51期会は11月25日に東海大学校友会館(眺めの素晴らしい)霞が関ビル35階で行いました。

一年ぶりの再会で話が弾み、家族のことやら、健康のことやら、とめどもなく話が広がりました。来年の再会を約し散会しました。

平成30年の合同新春懇親会

卒業生が学校行事に参加できる機会です。日頃、付き合いのある同窓生をお誘いして、お申し込み下さい。

記

日時・平成30年2月2日(金)

18時受付

18時30分開会

会場・アンフエリシオン

江東区亀戸1の23の1

03・5608・5381

会費・六〇〇〇円

申込・FAX 03・5836・7025

氏名・住所・卒業期・連絡先を記入下さい。



「校友会費の説明並びに 納入のお願い」

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっています。

年会費 三、〇〇〇円

特別会費 二〇、〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇、〇〇〇円を決定いたしました。以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さい。た方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただきますのは当然であります。が、諸事高騰の折柄お願いとして年会費も御払込願えれば幸いです。

今後は年会費で通常経費をまかない、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。

どうか皆様

基本財産として特別会費

一金 二万円

亦是運営費として年会費

一金 参千円

を左記宛て納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票(振込手数料無し)でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京〇〇一三〇一五二一五二九

三井住友銀行 日本橋東支店

〇二四一七二五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇七一

江東区亀戸七六五二二

TEL 〇二一五八三六二二〇

【校友会報】発行に係る

ご支援のお願い

校友会費等の郵便振込については、従来の会報誌に同封ができなくなりました。あらかじめ学校に連絡頂ければ振込用紙を本人宛に送付いたしますので是非ともご利用ください。

何かとご不便おかけいたしますが、会報誌のホームページ化に伴う措置ですので、会員各位のご協力とご支援をお願いいたします。

「中央学院大学 中央高校の 教育整備費に係る ご支援のお願い」

平成28年度から、本校の教育環境実現を図ると共に運動系・文化系クラブの活動を継続的にサポートし教育強化を進めて行くことを目的として始められました。

日本の経済状況が先の見えない厳しいところがありますが、母校発展のためにご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご賛同の方は、あらかじめ学校に連絡頂ければ振込用紙を本人宛に帆送いたしますのでご利用ください。